

カネミツ、新工場

変速機部品を一貫生産

来年1月稼働 兵庫・加西に建設

【神戸】カネミツは自動車用トランスミッション(変速機)部品の増産などを目的に加西工場(兵庫県加西市)敷地内に第4工場を建設する。5月に着工し、12月に完成。2021年1月の稼働を目指す。

投資額は約2億円。変速機部品の増産分で、23年3月期までの中期経営計画で骨子の連結売上高100億円の達成を目指す。計画中の同売上高約15億円増の大半は変速機部品が占めるといふ。

新工場は変速機部品 装部品の機械加工を手などを製造する加西工

がける。

場の第4工場として建設する。延べ床面積は1011平方メートル。主に子会社の松本精工(兵庫県加古川市)の変速機部品の後工程(切削など)の移管や電気自動車(EV)関連の電

同社は自動車や農機用のエンジン駆動の鋼

板製プリー(滑車)

が主力。近年は変速機部品の受注に力を入れている。

独自の鋼板立体造形技術を確立。1枚の鋼板を回転させながら立体成形する回転成形法

や、プレス増減肉工法などを活用して高精度

・軽量化、低コスト化し、生産効率化や品質向上を実現している。松本精工は2018年5月にカネミツの完全子会社になり、従来から手がけるEV関連の電装部品などで売り上げを伸ばしている。